

【様々な戦いに対する防備と勝利①】

説教者：鄭南哲牧師

今日の聖書本文：エペソ人への手紙6：10－13/暗唱聖句：エペソ人への手紙6：13 (Rev.Jung nam-chul)



愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！新しい3月が始まりました。一週間はいかがお過ごしでしたか。コロナ禍が続いている中始まった3月中にもみなさんの安全と回復を、主の見守りと御導きを心からお祈り申し上げます。

先週木曜日2月24日午前4時50分、ロシアは一方的にウクライナに軍士侵攻により、戦争が起こりました。現在ウクライナに大きな悲劇と悲惨な現場となり、多くのウクライナの子どもたちや若者たち、家族の尊い命が失われ、多くの避難民が家を全て周囲の国々に避難生活が続いているのです。攻撃したロシア軍の中でも多くの若者たちが理由もなく連れられ、多くの命を失っています。どんな理由があっても、暴力も、戦争も一切あってはなりません。どんなに正当化をしようとしても、戦争が決して許すことができません。是非ウクライナでの戦争が終わり、ウクライナの地の上に平和が訪れるようにお祈りを続けてお願い致します。

<ウクライナの為の祈り>

救いと力に満ちておられる主よ。戦火の続く悲劇の地ウクライナの民をどうか哀れんで下さい。

ロシアの軍士侵攻を一刻も早くとりやめ、撤退するようにして下さい。

住む場所を追われ、避難を続けている人々、戦場となっている地にとどまり続けている人々のいのちをお守りください。

世界の各国のリーダーたちが、それぞれの政治的な立場や思想を超え、平和のために共に働くことが出来ますように。

恵みと真に満ちておられる主よ。私たちが無知のままであることがないように、真実を求める心と見分ける力をお与え下さい。

私たちが無関心にとどまることがないように、誠実な心と祈り続ける力をお与えください。

私たちが無慈悲におちいることがないように、愛する心と行動する勇気をお与えください。

平和と正義に満ちておられる主よ。

地の上に平和がもたらされ、主の正義と公正が示されますように。

主の愛が地の上に満たされ、主の御心が地の上になりますように。

今、私たちは主が教えて下さった祈りをともに心合わせて祈ります。

<主の祈り>

天にまします 我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たさせたまえ

御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日曜の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯すものを われらが赦すごとく

我らの罪をも赦したまえ

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ

国と力と栄とはかぎりなく汝のものなればなり アーメン！



愛する信仰の家族のみなさん、実は我らも日々見えない戦いの中にいることをご存じでしょうか。この地上での生涯の間絶えず霊的な戦争や戦いが続いていることを教えて下さっています。信仰の生活も戦争です。戦いがあると聖書は語っています。神様は聖徒たちが最善を尽くしてこの霊的な戦いによく備え、戦い続け、勝利する人生となるように望んでおられます。特に、この年度末で忙しくなる今月とこれから、我らが共にあらためて【様々な戦いに対する防備と勝利の為に人生、勝利するクリスチャン】として進み行くためにどうすれば良いのか共に主の御言葉を通してこれから共に学んでいきたいと願っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

<1. 我らの霊的戦いの対象>

今日の本文のエペソ人への手紙6章11－12節には我々の戦うべき対象についてこのように教えて下さっています。

「11 悪魔の策略に対して強く(立ち向かう)立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。」

11－12節では11 悪魔の策略に対して強く(立ち向かう)立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。12 私たちの戦いの対象は血肉に対するものではなく、支配、力、悪魔とこの世のもろもろの悪霊にたいするものだと教えて下さっています。みなさん、聖書にはかならず、この世に悪霊の存在があると教えています。今日の時代はそんなものは全部嘘つきだし、人間が作った映画とかで出る作り話だと思い込んでサタン、悪霊の存在について信じようもしない人がいれば、ある人はこれらのことに関心をおきすぎ、聖書、信仰の基本と常識も無視して、ただ神秘的に理解しようとする人もいます。特に私たちクリスチャンはこれらのことをわきまえる必要があります。かぜをひいたのも悪魔のせいだし、道を歩きながらころんだのも悪魔のせいだし、人生の失敗と苦しみもなにもかも悪魔のせいにするあるカルトの教会の教えなどに惑わされではありません。

今日我々が覚えるべきことはまず、私たちの戦いは人間同士ではなく悪魔、そして天にいるもろもろの悪霊たちとの戦いであることです。これは私からの話ではなく、聖書つまり、神様からの御教えなのです。今日のさまざまな主の教会を見ながらも、いつも残念に思っていることは、いざ私たちが戦うべき対象は、ともかく間違っただけに主にある一つの家族であり、兄弟姉妹である信徒たちの間で競争し合い、ねたみあい、戦おうとしていることです。

いつも敵を見極めることが大切です！敵がだれなのかを正確に把握しない限り、私たちが間違っただけに激しく戦ってしまうことがないように気を付けましょう。これはある意味で当たり前の話で、とても簡単なようですが、実はとても混乱しやすい難しいことだと思います。意外と多くの方は、自分の敵がだれなのかを知らずにいます。しばしば私たちは、ある出来事やきっかけにより愛すべき家族や夫、あるいは妻が敵のように戦おうとする人たちがいます。一緒に暮らしている隣人や同じチームで共に協力すべき職場の同僚とか、時には自身さえも敵とみなして攻めてしまう時があり、打ち勝とうとして責めたり、苦しませたり、無理やりに押さえつけようともします。あるいは、逆に自分や自分の家族以外は、誰でもみんな自分たちに害を与えようとする敵みだにみなし、警戒し、自分の家を城見たいに作ろうとし、外部との交流を遮断し、閉鎖的に生きようとする方々もいます。

「12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。」、「**身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたいける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。(ペテロの手紙第一5章8節)**」

昔も、今もサタンと悪魔どもは自分の本来の正体は隠したまま、人間の世界に入り込んで、目に見える夫婦の間で、家族の間で、教会員たちの間でお互いが相手のせいをしながら、激しく戦いあってしまい、結局はお互いが自滅か、分裂してしまうようにさせていることです。とても単純な真理ですが、**みなさん、私たちが戦うべき対象がだれですか。**私たちの敵は決して目に見える人間ではないことを心にきざみ覚えましょう。教会の家族、人間たちは憎悪(ぞうお)の対象ではなく、お互いに神様の尊い作品であって、共に支え合い愛し合うべき対象であることを、心にとめて祈りましょう。

<2. 我々は攻撃にどう防備し、対抗できるのか。:神のすべての武具を取りなさい！>

「13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて強く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。」さきほども申し上げたように聖徒の人生は霊的戦いの連続です。神様の御言葉は私たちに決して試みがないとは言いません。むしろ神様のすべての武具を身につけて悪魔との戦いにそなえるようにと教えています。神様の武具を身につけるように悪魔たちとのどんな戦いにもでも恐れることなく、強く立つことができると教えてくれます。今日の本文14—17節からは神様のすべての武具について説明して下さい。これらのことを順番に覚える必要があると思いますが、具体的には一つずつ取り上げてみましょう。

<神のすべての武具というのは意味 ①信仰の基本(基礎)をしっかり身につける事>

そしたら、神様のすべての武具とは何ですか。はじめに、14節に「そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、15足には平和の福音の備えをはき、16これらすべての上に、信仰の盾をとり、17救いのかぶとをかぶり、御霊の剣を捕りなさい」と言われました。腰には真理の帯を、二つ目、胸には正義の胸当てを、三つ目は足には平和の福音のそなえを、四つ目は信仰のおおだてを、五つ目の頭には救いのかぶとを、最後の六目には御霊のつるぎであることが分かります。

事実皆さん、この神様のすべての武具というのは私たちにまったく知らない特別なことではありません。当時、ローマ軍人の格好(かっこう)を想像して見てください。神様の願われているのは打ち勝つための特別な武具を身につけることではなく、もっとも基本的な武装を言われているのです。みなさんがクリスチャンであるならば、ここに提示されていることは大体よく聞いた事がある内容であり、信仰の生活においては一番基礎的な基本的な信仰の部分であることが分かります。兵士が武具を身につけなければ、戦いに十分に対抗し、戦い続け、打ち勝つことが出来なくなります。

神様は私たちが霊的戦いに打ち勝つために、私たちも知らない特別な何か新武具を用意しろと言われることはまったくありません。軍人にとって、兵士にとってもっとも基本的な武具の六つのものであることが分かります。あるもの一つだけとか、いくつだけだとか言われてもいません。この六つの中一つだけでも軽じて、見逃す事になったら、サタンはたえず、私たちのその弱点ばかり攻撃してくると思います。われらが自分たちの弱ところを補(ほ)おうとしなければ、サタンは私たちが完全に倒れるところまで、弱点を攻め続け、攻撃し続けて来ることは当然ではないでしょうか。私たちがどちらかが防備の準備できず、弱点を見せてしまうと、それだけサタンからの攻撃に十分に対抗し、戦い続け、打ち勝つことが出来なくなることを覚えておきましょう。我らが堅く立って、対抗し、勝利を収めることが出来るために、神様は神様のすべての武具を取りなさいと我らのために命じて下さっています！

この神のすべての武具6つとは、真理の帯、正義の胸当て、平和の福音、信仰の盾、救いのかぶと、御霊の剣は信仰の特別なことではなく、すべて信仰の大切な土台、基本のことであることが分かります！！

1517年に、墮落した教会に向って宗教改革者たちが叫んだ宗教改革の基本精神は何だったと思いますか。

“ad fonts”つまり“基本に戻ろう”いうことでした。これが宗教改革の始まりであり、本来の信仰を取り戻すきっかけになったのです。

「また、まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように(テモテへの手紙第1章19節(新改訳3版))」

今私たちはこの神のすべての武具である信仰の基本をどう整え、身に付けられるでしょうか。

シンプルで、簡単です！神のすべてのものですから、神様に求めることからでしょう。

詩篇28篇7節「主は私の力。私の盾。私の心は主に投げ頼み、私は助けられた。」

詩篇138篇3節「私が呼んだその日に、あなたは私に答え、私のたましいに力を与えて強くされました。」

詩篇20篇7節「ある者は戦車を、ある者は馬を求める。しかし私たちは私たちの神 主の御名を呼び求める。」

神様の願われているすべての武具というのは結局、信仰の6つの基本に忠実することです。多くの人たちが信仰の生活において無気力を訴えている理由は、特別な賜物などがないからでは決してありません。まさしくこの信仰の基本をしっかりと整えさせることを見逃してしまい、あまく考えているからです。この信仰の基礎すら、しっかりと点検し、整えさせておけば、我らは悪霊どもの様々な戦いと攻撃に対して、強く立ち、十分に対抗し戦え、ついに勝利を収めることが出来る約束を一生握りしめましょう。

<神のすべての武具というのは意味:②結局、自分によるのではなく、神による戦いと勝利>

神のすべての武具を身につけなくては、決して戦いには対抗し、打ち勝つことが出来ない、つまり、神によらなければ、この戦いにジュ分に対抗し、勝利することが出来ない事、すべてのこの霊的な戦いの勝利は、神の御手にあることを教えて下さっています！

愛するみなさん、今日エペソ人への手紙の御言葉をとおして、神様が具体的に教えてくださる深い意味を吟味しましょう。

悪魔が攻撃してくるときは適当に攻撃しません。サタンは人間よりずるいし、力があります。悪魔も明確な目的と狙い明らかで、我らをいつも倒そうとしています。悪霊どもはキリストを信じる人々がどうすれば、神から離れさせ、無気力にさせて倒せるか、どうすれば落胆して神を信じる信仰から離れて、大切な関係を打ち壊し、人生を諦め、大切なものを失わせることが出来るのか研究します。私たちが何に弱いのか、何に執着しているのかすでに把握を終えています。そして、絶えず、攻撃して来るのがまさしくサタ

ンなのです。

ですから、私たちも徹底的に神様の助けと力がなしでは、自身の頭と力では、決してサタンとの策略に打ち勝つことはとうてい無理なのです！自分の才能や知能などは関係ありません。神様の方法と神様の御言葉のみです。‘悪魔にとって適当はない’という事実を忘れないでください。しかし、同時にこの聖書の約束の真理を覚えましょう。神様はこの戦いに私たちがよわよわしくいつも負けばなしの人生となる者として呼んで下さっていません。神様の子供として、そしてキリストの信仰の兵士としてしっかりと整えられれば、いつでも！必ず！サタンと悪霊どもとの戦いにおいて、確実な勝利を約束し、その神の勝利を味わらせるために私たちを召して下さいなのです。

時に我らは自分の情熱と強さで、力で、勝ち取りたいと挑み、一生懸命に戦うとします。しかし、しばらく厳しい現実と直面してしまうと、徐々に後じさりが始まり、神様ががっかりし、恨みながらと失望しつつ、信仰の道から離れてしまったりする場合があります。ある方は反対にもう神様の為に一生懸命にやっても成果がないことに自分の無気力を感じたり、自己憐憫に陥ったり、自分なりに罪責間に打ちのめされるようになってしまうケースもあります。我々がクリスチャンであれ、そうじゃない人であれ、今まですべて自分の力で行っていたために、疲れ果ててしまい、ついには何もできなくなってしまった時はないでしょうか。

しかし、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！その時さえも大丈夫です！

なぜなら、神様御自身は「大丈夫。あなたにがっかりさせられることはない。あなたが私を支えているのではないんだから」と言っておられます。みなさん！覚えるべきなのは私たちが神様を支えるのではなく、神様が私たちを支えてくださるのです！神様は今も私たちに「重い荷は私に下ろして、私に任せて。そして、あなたは信仰の内に安らぎなさい。私があなただけを通して働きますから！」と言われるのです。もし、今みなさんの中で‘主よ。もう私は無理です。疲れちゃいました。うんざりです。本当にどうすれば良いのかまったくわかりません。うんざりすることにもうんざりです。神様！もうお手上げです。’というような状況に追い込まれている方々がいらっしゃいますか。

大丈夫です！実はその瞬間が神に委ね、神の力と働きを待ち望む時ですから！神様はその方々にこうおっしゃると思います。“それで良い！これから、私を信頼し、私に委ね、任せなさい。私が働きを始めよう。あなたがわたしに心から委ねる時まで待ってたんだ。あなたのための素晴らしい計画はもう立っているからさ。さあ！気を楽しみなさい。あなたを通して私が働くから。私にすべて任せて！代わりに戦ってあげるから！”と。

申命記1章29-30節「それで私はあなたがたに言った。「おののいてはならない。彼らを恐れてはならない。」あなたがたに先立って行かれるあなたがたの神、主があなたがたのために戦われる。エジプトで、あなたがたの目の前で、あなたがたのためにしてくださった同じように。」

イザヤ書41章10節「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」

旧約聖書の中ゼカリヤという神の預言者を通して言われたように、人生の中で様々な霊的な戦いは、「権力によらず、能力によらず、私の霊によって」(旧約聖書ゼカリヤ書4章6節)通りに、我々の勝敗は、人の力、知恵ではなく、神による(神の力、神の知恵、神のすべての武具)のだとはっきり教えて下さっています。

<戦いが続いている時は、決して油断してはいけません！>

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！基本に充実している人はむしろ自分が強いと自慢しません。戦いが続いているうちには、寝る時さえも、基本の武装は身につけておくことは、軍人の同然な義務ではないでしょうか。もう大丈夫だろうと油断してはいけません！しかし、多くの信仰の人物たちの中では、もう良いだろうと、もう自分は安全だ！自分はもう強い！と油断してしまった結果、大きな失敗を招いてしまった人々がいました！

アブラハムをみてください。彼の強いところは信仰だったのに、後になっては自分の妻を妹だと嘘ついてしまいました。柔和が強か

ったモーセも憤ることにより約束の地に入ることはできませんでした。誠実だったダビデさえものんびりしているうちに、屋上で体を洗っている他人の妻を見つめ誘惑に陥られてしまいました。勇敢なイエス様の弟子だったペテロもおさない少女の前で、イエス様を三度も知らないと否定してしまいました。ですから、我らも、自分は、我ら夫婦は、我らの家族は全然大丈夫だろうと油断してはいけません！いつも基本に忠実な人は、自分自身をよく顧みる者であり、自分をよく点検し、目を覚まし、いつでも戦える準備が出来た人でしょう。ですから、自分の弱さや限界、自身の足りなさをよくしているため、油断せず、常に神様の御前で謙遜に頼り続け、祈ることができると思います。

聖書は私たちに足りない戦闘力で戦いなさいとは言っていません！いつもサタンより、圧倒的上回る神の御力と知恵、御助けによって、戦い制圧し、勝利をおさめなさいと神様は我らの為に、我らに命じておられます。今日の御言葉を通して、今直面しているさまざまな戦いや問題に打ち勝つため、油断せず、絶えず謙遜に神に頼り、委ね、神の力によって生きることが大切です。

それでは、共に神の勝利が我らの人生の勝利となるために、来週からは具体的に一つ一つ(14節、腰には真理の帯を、二つ目、胸には正義の胸当てを、三つ目は足には平和の福音のそなえを、四つ目は信仰のおおだてを、五つ目の頭には救いのかぶとを、最後の六目には御霊のつるぎ)、自分の身に、生活に付けながら、もう一度、いつでも対抗できるように、勝利を収めることが出来るように備えて生きましょう。神様の力と勝利のために、命じられた通り、信仰の基本にもう一度立ち返え、取り戻し、我らに望んでおられる信仰の基本的な信仰の武装と武具をいつも身に着け、共に勝利していくクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族となりますように切にお祈り申し上げます。アーメン！

申命記31章8節「主ご自身があなたに先立って進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。」